

# 令和3年7月の出水状況

令和3年11月1日

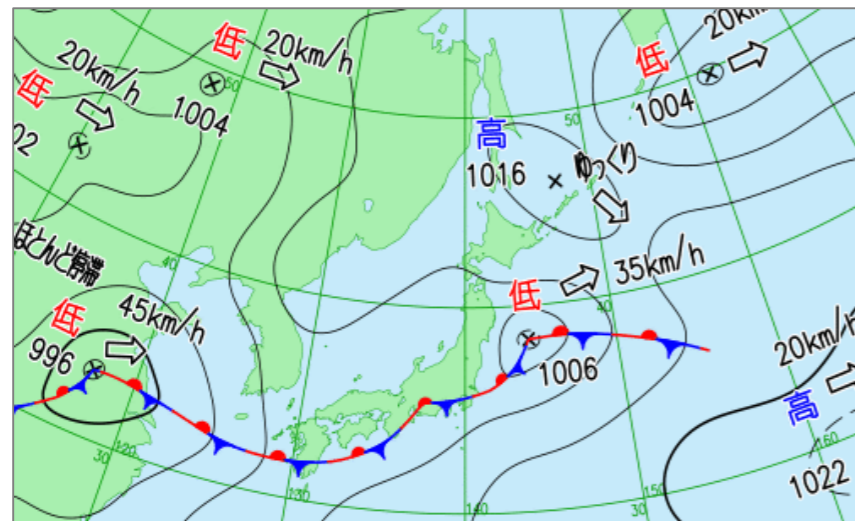
国土交通省 中部地方整備局  
沼津河川国道事務所

## ① 令和3年7月出水(令和3年7月2日～3日)における降雨の状況

- ◆ 本州上に梅雨前線が停滞した影響で、静岡県では、1日から3日まで断続的に雨が降り続き、特に黄瀬川流域の大部分で累加レーダー雨量が500mmを上回った。
- ◆ 黄瀬川流域に位置する愛鷹および須山雨量観測所での24時間雨量はそれぞれ585mm、552mm(速報値※)と観測史上最大の雨量を記録した。また、愛鷹雨量観測所では、3日深夜に時間雨量75mmの非常に激しい雨を記録し、1日1時から3日15時までに降った総雨量は808mm(速報値※)を記録した。

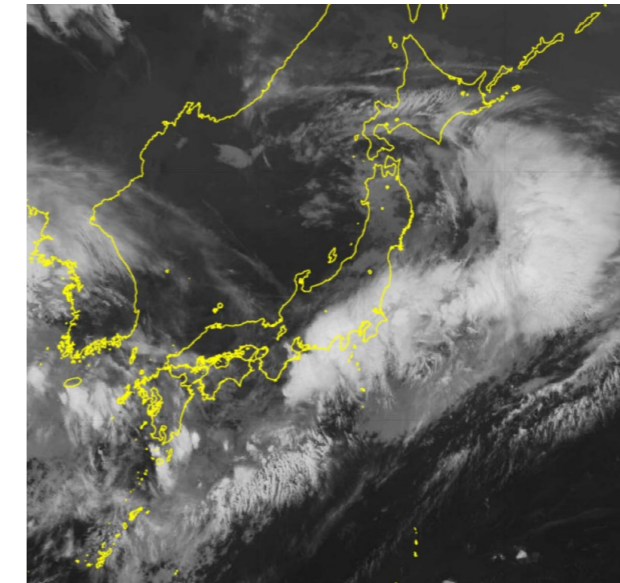
※欠測値補填後の更新値

天気図



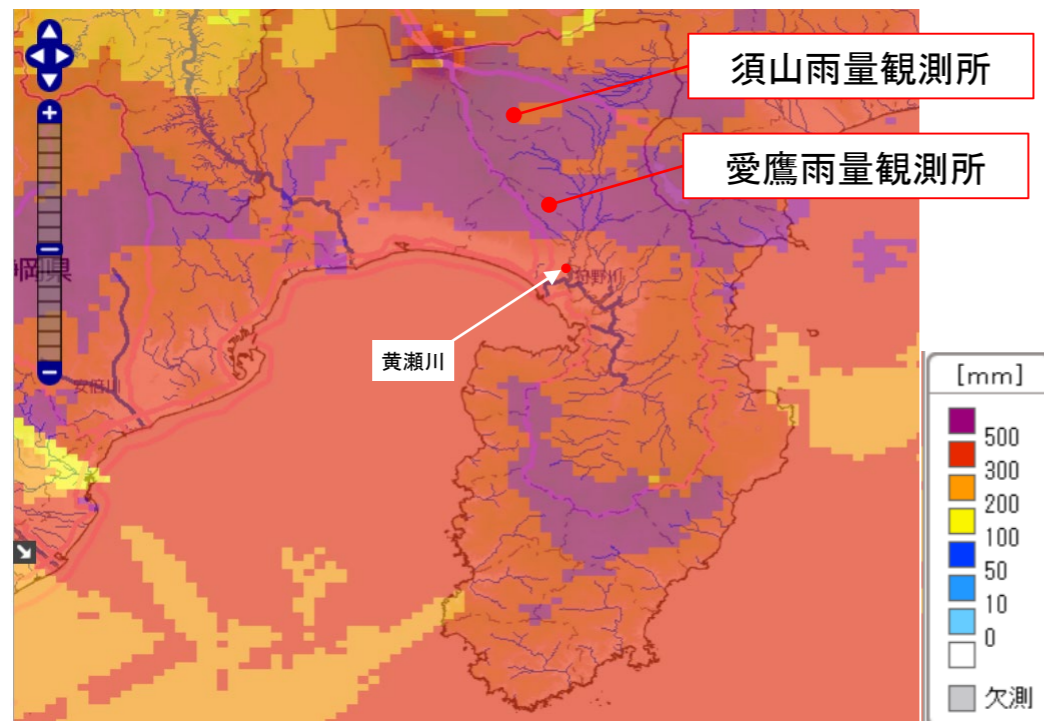
天気図  
(7月3日6時現在)

気象衛星画像



気象衛星画像  
(7月3日6時現在)

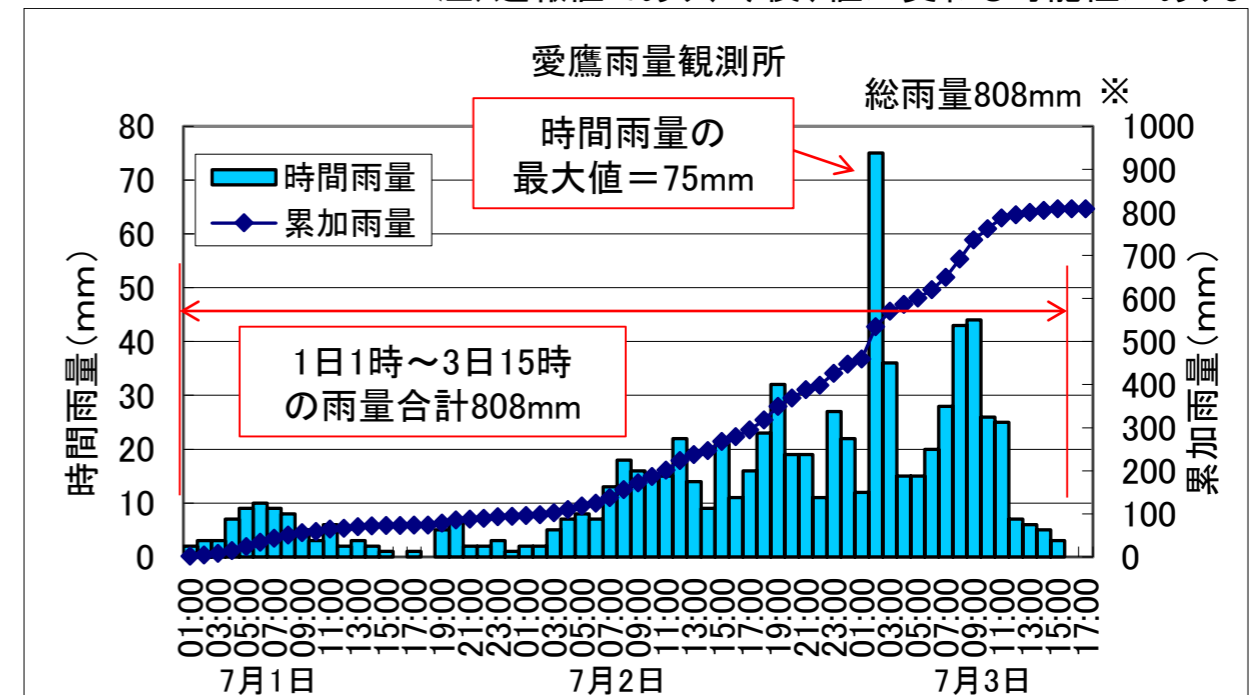
65時間累加レーダー雨量 (1日1時～3日17時)



\* 国土交通省統一河川システム 累加雨量データより

愛鷹雨量観測所(国交省) 時間雨量

注)速報値であり、今後、値が変わる可能性があります



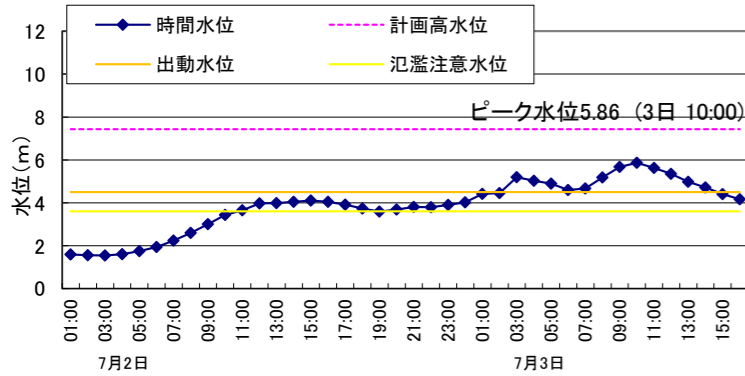
※ 1日1時から3日15時までの雨量合計

## ② 令和3年7月出水(令和3年7月2日~3日)における水位の状況

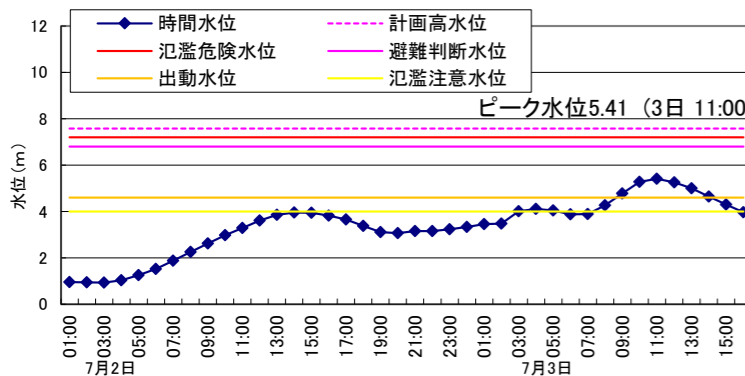
- ◆ 今回の出水は、黄瀬川の本宿水位観測所で氾濫危険水位を超過。
- ◆ 本川および他の支川では氾濫注意水位以上の上昇はみられなかった。

### 代表的な水位観測所の状況

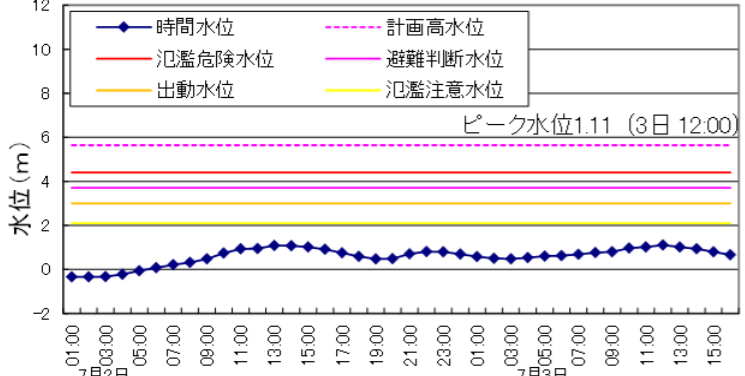
狩野川【黒瀬】水位



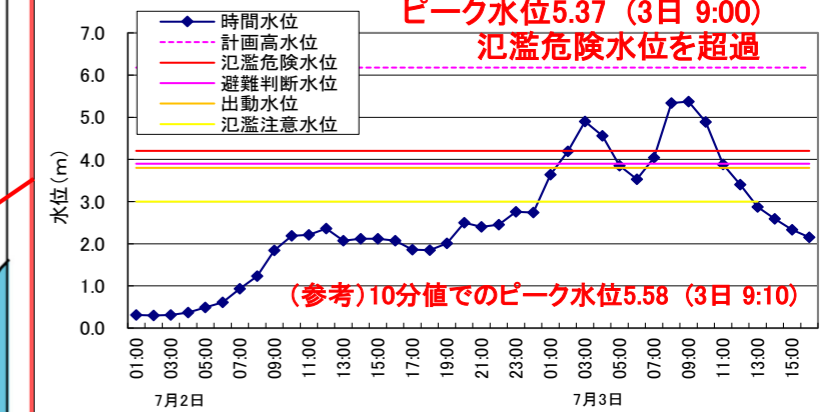
狩野川【徳倉】水位



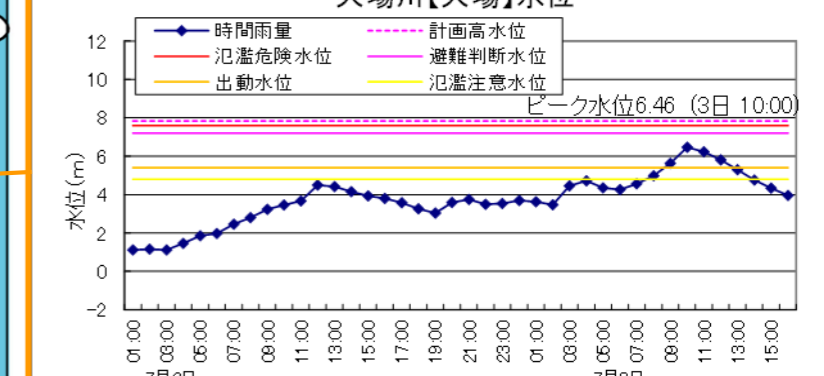
狩野川【大仁】水位



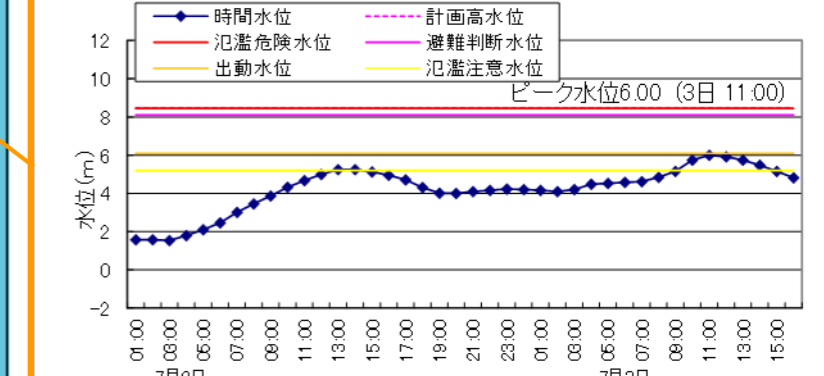
黄瀬川【本宿】水位(1時間)



大場川【大場】水位



来光川【蛇ヶ橋】水位



## ③ 令和3年7月出水(令和3年7月1日~3日)における流量

- ◆ 黄瀬川では既往最大洪水のピーク流量(概ね50年に1回発生する規模の洪水に相当)を目標として設定。
- ◆ 黄瀬川のピーク流量は1,100m<sup>3</sup>/s(速報値)と推定され、整備計画目標流量に迫る流量規模であった。

### 計画流量と令和3年7月出水の流量の状況

○黄瀬川



令和3年7月出水状況(7/3 9:10)

黄瀬川

1,200
1,200
約1,100

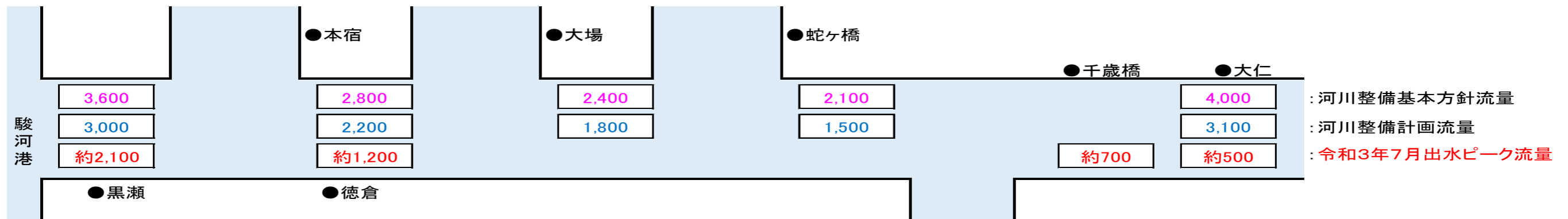
大場川

460
460
-

来光川

400
400
-

: 河川整備基本方針流量  
 : 河川整備計画流量  
 : 令和3年7月出水ピーク流量



○狩野川 御成橋付近



令和3年7月出水状況(7/3 9:50)

○黄瀬川 狩野川合流点付近



令和3年7月出水状況(7/3 9:30)

放水路

○狩野川放水路



令和3年出水状況(7/3 12:10)

※令和3年7月出水のピーク流量は令和元年度HQ式による水位～流量関係からの速報値

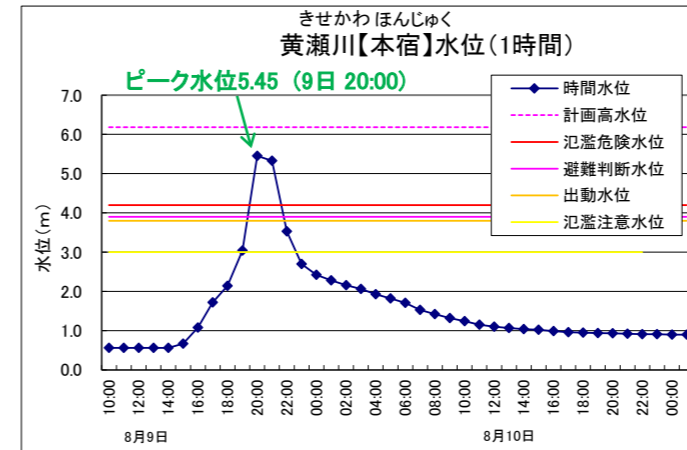
## ④ 黄瀬川戦後最大洪水(昭和51年8月9日)との比較

- ◆ 今回の出水は、黄瀬川の戦後最大洪水である昭和51年8月洪水と比較して、時間雨量は小さいものの、雨の降り始めから終わりまでの総降水量は大きく上回る規模であった。
- ◆ 本宿地点の時刻水位は、昭和51年8月洪水のピーク水位まであと8cmに迫り、戦後2番目の水位を記録した。7月出水は長雨により水位が高い状況がより長く続いた。

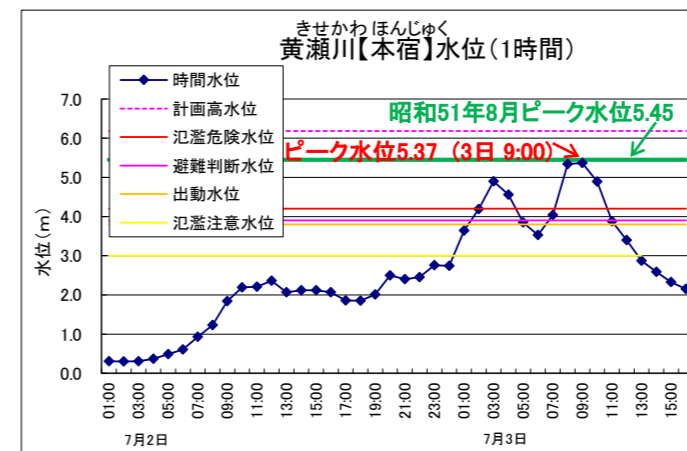
	S51年8月		今回出水	
水位(m) (本宿水位観測所)	5.45		5.37	
	印野	須山	印野	須山
時間雨量(mm)	64	81	52	52
総降水量(mm)	202	271	572	739

### 本宿地点水位の比較

最高水位  
・昭和51年8月洪水  
本宿地点：5.45m

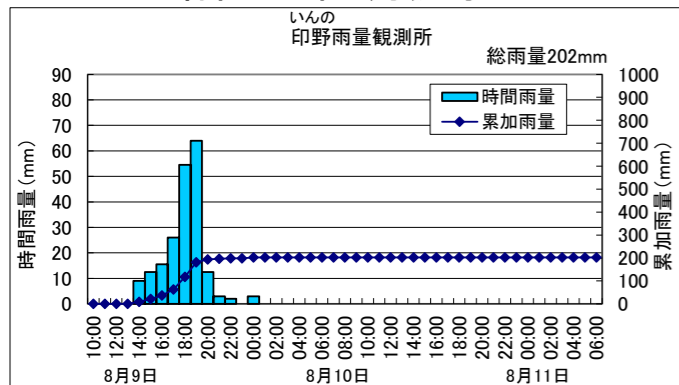


最高水位  
・令和3年7月洪水  
本宿地点：5.37m

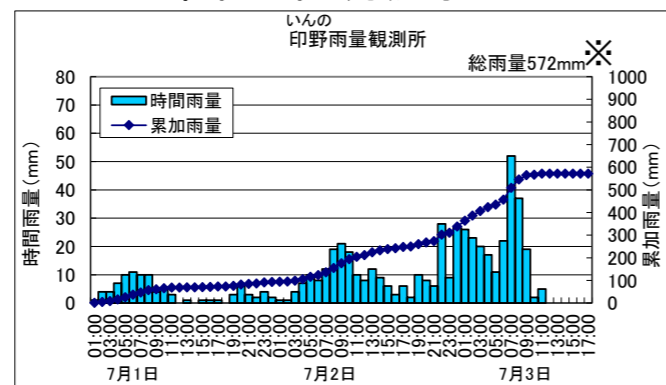


### 観測所雨量の比較

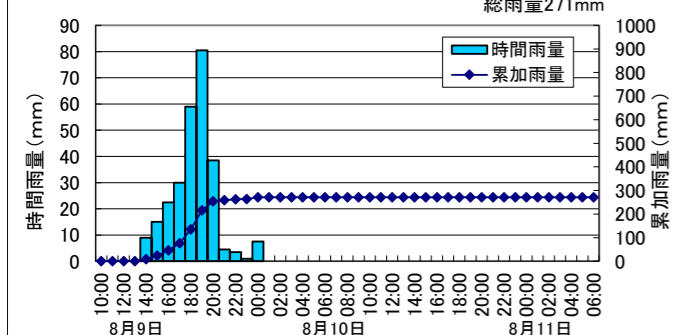
#### 昭和51年8月洪水



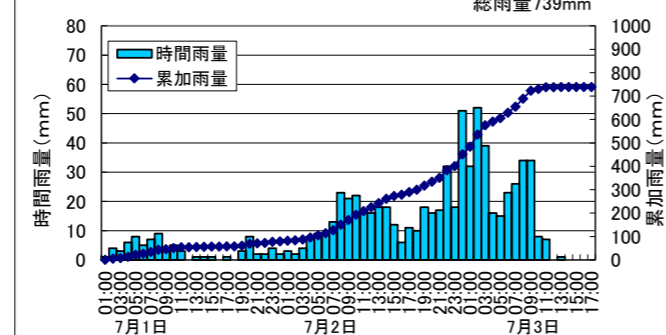
#### 令和3年7月洪水



#### 須山雨量観測所



#### 須山雨量観測所



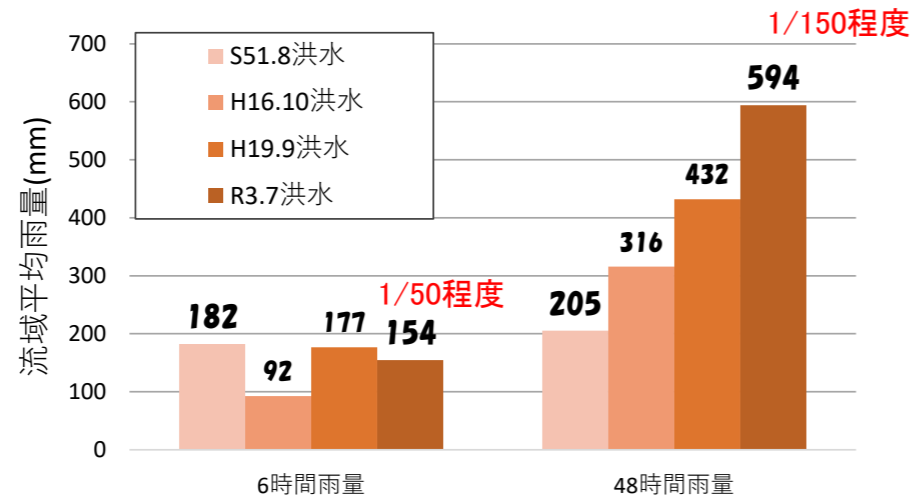
※ 1日1時から3日15時までの雨量合計

## ⑤ 黄瀬川戦後最大洪水(昭和51年8月9日)との比較

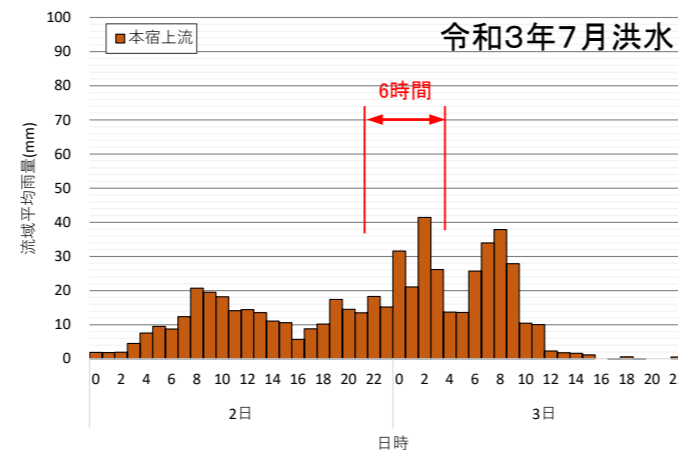
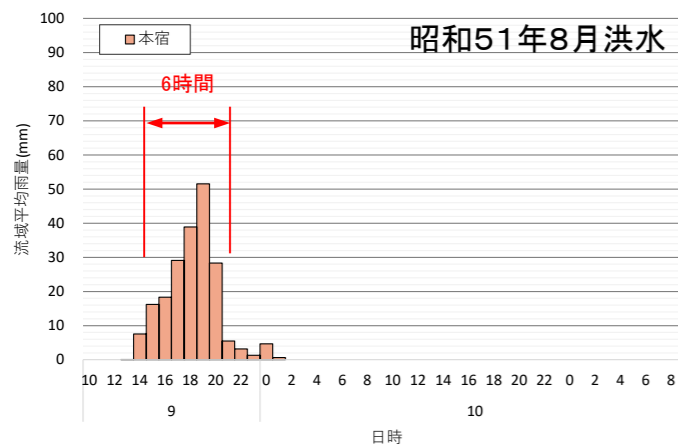
- ◆ 支川黄瀬川上流域の富士山麓では、流域平均雨量48時間雨量は、1/150程度と大きな規模であった。
- ◆ 一方、流域平均雨量6時間雨量は1/50程度の規模であり、戦後最大洪水である昭和51年や近年内水被害の多かった平成19年洪水よりもやや小さい規模であった。

- 狩野川における過去の実測流量上位50位までの洪水において、約8割が48時間以内の降雨継続時間で形成されているため、洪水を形成する総雨量として48時間雨量を設定。
- また、過去の洪水の実績より、狩野川の洪水流出ピークに対しては6時間雨量の影響が大きいことから、流出ピーク前の時点における6時間の最大雨量を、流出ピークに影響する雨量として設定。

### 本宿上流域平均雨量



※参考に近年内水被害の多かった平成16年、平成19年の降雨を掲載

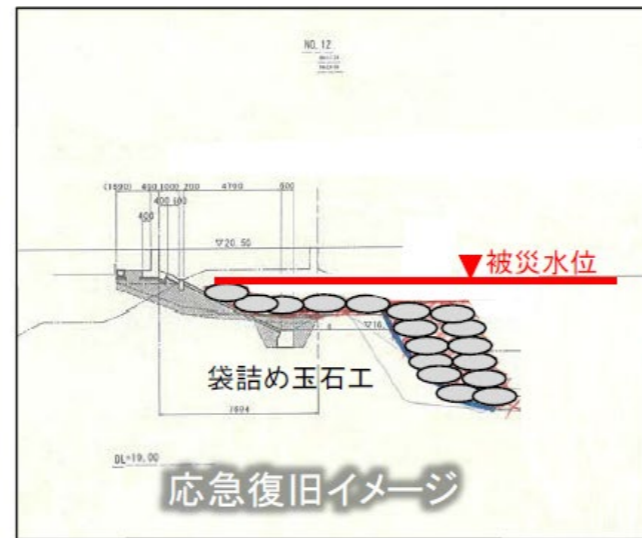


## 2) 令和3年7月出水対応状況

### ① 黄瀬川応急復旧状況

- ◆ 黄瀬川左岸2.6k付近のブロック積み護岸が崩落(L=約70m)し、応急復旧として袋詰め玉石工を実施(7/10完了)。
- ◆ 黄瀬川大橋の沈下した橋桁による堰上げを想定し、3日の損傷確認後、越流防止対策として大型土のうを4日迄に設置。橋上流約30~40m、橋上面15m、橋下流約20m 左右岸で計140m(251袋)を設置。

#### 黄瀬川本宿地区の護岸応急復旧



#### 黄瀬川大橋の護岸応急復旧



黄瀬川大橋橋脚、橋梁の損傷



\* 静岡県による設置、国の道路TECによる技術支援

## 2) 令和3年7月出水対応状況

### ② 令和3年7月出水の市町への支援活動状況

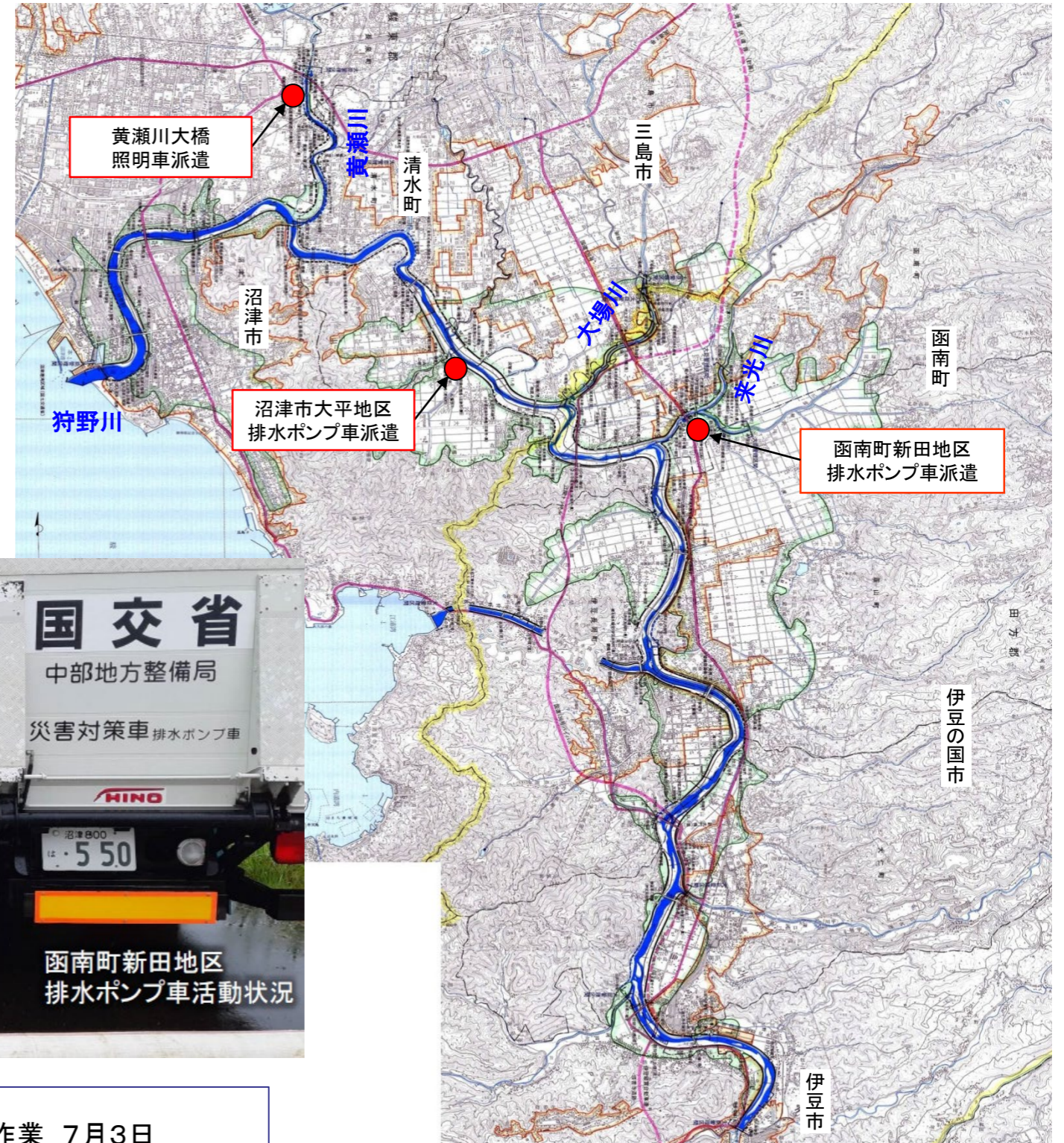
- ◆ 県からの要請を受け、黄瀬川大橋に照明車を派遣。
- ◆ 市町からの要請を受け、排水ポンプ車を2箇所(沼津市、函南町)に派遣し、排水作業を実施。

#### 排水ポンプ車、照明車の派遣



黄瀬川大橋  
照明車活動状況

黄瀬川大橋での照明車活動 7月3日



黄瀬川大橋  
照明車派遣

沼津市大平地区  
排水ポンプ車派遣

函南町新田地区  
排水ポンプ車派遣



函南町新田地区  
排水ポンプ車活動状況

しんでん  
函南市新田地区における排水作業 7月3日

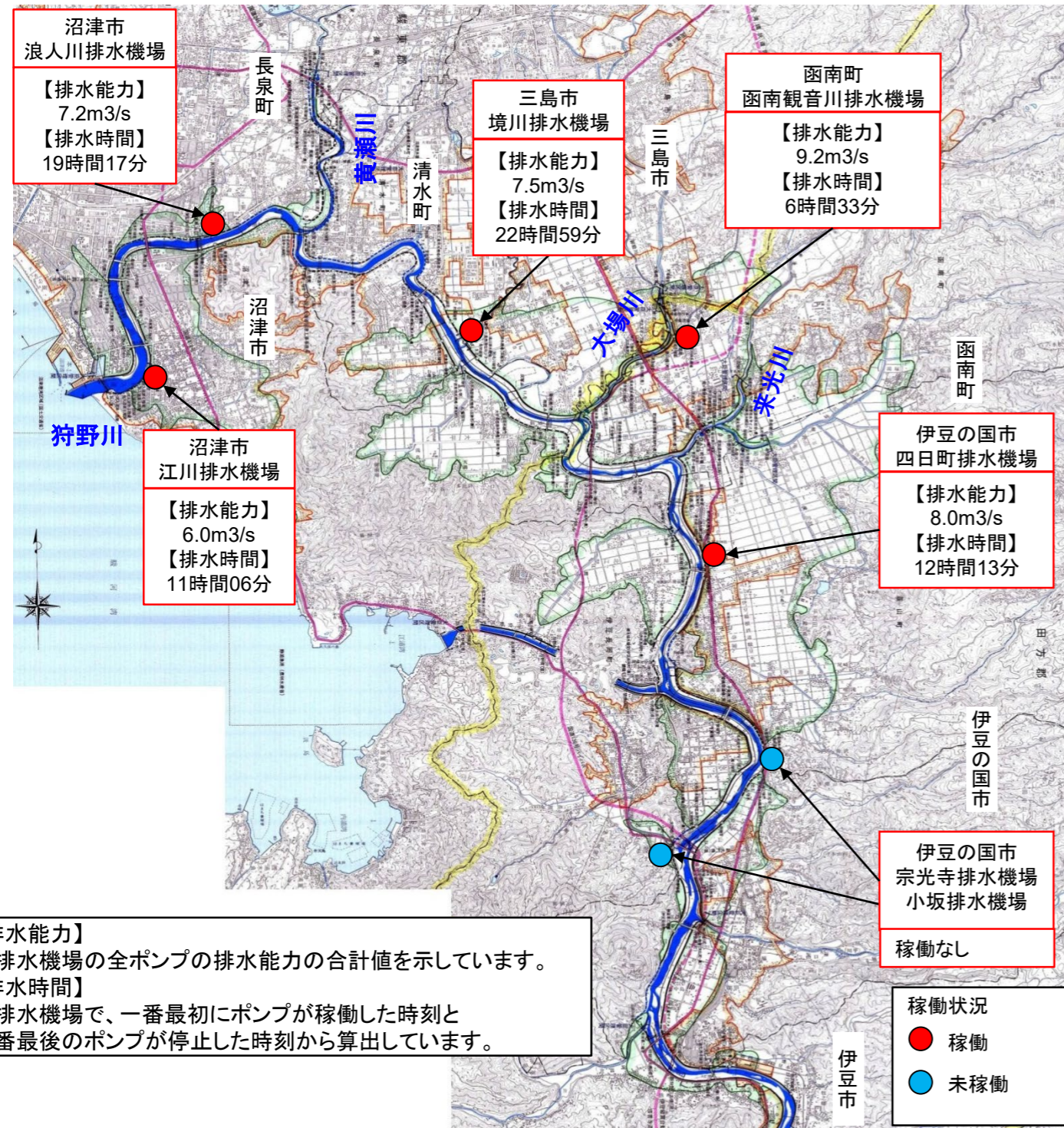


## 2) 令和3年7月出水対応状況

### ③ 令和3年7月出水の排水機場稼働状況

◆ 沼津河川国道事務所が管理する7箇所の排水機場の延べ稼働時間は約74時間、延べ排水量は約146万m<sup>3</sup>(25mプール 約3,000杯分)。

#### 排水機場稼働状況



● 沼津河川国道事務所が管理する7箇所の排水機場

- ・延べ稼働時間 約74時間
- ・延べ排水量 約146万m<sup>3</sup>



これは、25mプール 約3,000杯分になります。

### 3) 黄瀬川における河川改修事業の効果

◆ 近年の河道拡幅(黄瀬川橋)【H17~H25】や河道掘削【H30~R2】等を実施したことで、①約1mの水位低減により氾濫を回避、②浸水被害(想定被害額約110億円)の発生を防止。

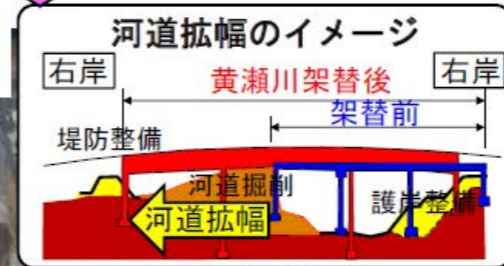
#### ■ 位置図



#### ■ 出水状況



#### ■ 近年実施した河川改修



#### ■ 想定浸水範囲



#### ■ 河川整備による水位低減効果

